

バーモントカップ第27回全日本少年フットサル大会 滋賀県予選 申し合わせ事項

1. 競技方法

- (1) 試合時間 予選リーグ及び決勝リーグ：10-3-10分ランニングタイム
(前後半とも最後の1分間はプレーイングタイム)
準決勝以降：7-3-7分プレーイングタイム
- (2) タイムアウト 準決勝以降の試合では、前・後半各1回タイムアウトをとることができる。
- (3) 審判員 主審は協会より派遣する。準決勝以降は第2審、タイムキーパーも協会から派遣する。
- (4) 予選順位決定 参加チームをA～Gの7組に分けて予選リーグを行い、大会要項に則り順位を決定する。
- (5) 予選通過基準 合計8チームが決勝リーグに進出する。【各組1位(7チーム)、各組2位よりワイルドカード方式で1チーム】
- (6) リーグ戦の順位決定方法 勝点→得失点差→総得点→当事者対戦結果→1試合最多得点数→抽選
- (7) ワイルドカード方式の順位決定方法 勝点→得失点差→総得点→1試合最多得点数→抽選
- (8) 抽選の方法 複数の封筒のひとつに○印を記入した紙を入れ、リーグ表の上のチームから順に主将が封筒を選び、全員が同時に開封して内容を確認する。○印の紙が入った封筒を引いたチームを勝者とする。(3チーム以上の抽選は番号を記入した紙で行う)

2. その他

- (1) 極端な悪天候等で遅刻する場合は、速やかに大会役員へ連絡し相談すること。交通渋滞等の理由は認められないので、時間に余裕を持って行動すること。
- (2) チーム役員は、選手の安全管理及び節度ある団体行動を常に指導率すること。万一会場を離れる際は、代わりのチーム役員が選手と行動を共にし、常に責任を持って選手を指導掌握していなければならない。
- (3) 会場準備と後片付け、第2審判、タイムキーパー、記録係及びボールパーソン等の割り当てに対応すること。会場準備と後片付けは重量物を扱い危険を伴うので、チーム役員や保護者が協力することとし、選手の参加は認めない。ボールパーソン・フロアのモップがけ・清掃は選手でも可とする。ただしチーム役員が常に選手の安全管理指導を行うこと。
- (4) タイムキーパー及び記録係は特に資格を必要としないが、選手が担当することはできない。
- (5) 自チームの1試合目開始60分前までに、選手全員が受付で選手証を提示し、チェックを受けること。その際、ユニフォームと試合用シューズを着用または提示すること。自チームの2試合目以降は選手証のチェックを行わない。ただし、遅れて新たに参加する選手はチェックを受けなければならない。
- (6) 選手及びチーム役員が体育館の試合用フロアで使用するシューズは、大会要項の規定通りの物を当日までに準備しておくこと。例外は一切認めないので、選手及び保護者に充分周知すること。
- (7) 試合会場到着後のエントリーチェックでは、サッカー協会発行の選手証またはWEBから発行して紙に高品質で印刷した選手証を提示すること。明確に視認できる電子機器画面での提示も認めるが、画面が小さく視認できない場合や、電子機器の異常で提示できない場合は参加を認めないので注意すること。
- (8) 試合開始予定時刻の30分前までに規定様式のメンバー表を「受付」に提出すること。審判や運営補助の割り当て時間に注意し、余裕を持って準備すること。定刻までにメンバー表を受付に提出しない場合は、チームの意志で該当試合を棄権するものとみなし、0対5で相手チームの勝利とする。
- (9) 指輪・ネックレス・ミサンガ他、いかなる装飾品も身につけてはならない。また爪は危険の無いよう常に手入れすること。この項に違反する選手は出場を認めない。
- (10) ユニフォームに番号を取り付ける場合は、容易に破損しない布地を使用し、全周囲を途切れることなく縫い付けること。四隅のみの縫い付けや、安全ピン・ホック・ボタン等での取り付けは認めない。
- (11) ユニフォームは対戦チーム同士で調整し、同系色を避けること。特にストッキングの色が重複しないようにすること。調整の際は正副をどのように組み合わせてもよい。チーム同士で調整がつかない場合や色彩に疑問がある場合は、大会本部に調整を申し出ること。
- (12) 試合中にピッチサイドでウォーミングアップを行う際は、ボールを持ち込まないこと。ハーフタイムに次の試合のチームがピッチでウォーミングアップを行うことはできない。
- (13) 体育館では、上履き下履きの区別をすること。
- (14) 飲料や食事等のゴミは必ず持ち帰り、絶対に会場のゴミ箱に捨てないこと。
- (15) 忘れ物は一時的に大会本部で保管するが、当日中に持ち主が判明しない場合は廃棄する。ただし現金等貴重品は会場の管理事務所等に保管を依頼することがある。
- (16) 会場付近の路上や私有地に絶対に駐車しないこと。違反車両に対しては厳格に対処する。

※ 抽選会・代表者会議終了以降、大会要項及び申し合わせ事項に違反した場合は、該当チームを失格とすることがある。その場合、以後の試合(進行中を含む)全てを0対5で相手チームの勝利とする。ただしその時点までに終了した試合の結果は変更しない。失格となったチームは、以後の処置について大会の規律委員会の決定に従うこと。
その他、規定にない事態が発生した場合の処置は大会運営本部が決定する。